

令和6年度 森林環境譲与税決算状況一覧(総括表)

単位:千円

事業区分	使途区分	事業名	事業費		事業の概要	資料
				うち森林環境 譲与税充当額		
1. 民有林整備 の推進	1. 森林整備	森林作業路機能強化支援事業	10,000	10,000	森林整備の基盤となる作業路の機能強化に必要な経費の一部を支援することで森林作業路の強靱化を図り、効率的かつ安定的な木材生産を推進した(宮川町大無雁地内:L= 3,500 m)。	No.1
1. 民有林整備 の推進	1. 森林整備	森林経営管理法に基づく未整備森林整備事業	1,635	1,635	森林経営管理制度に基づく市町村森林経営管理事業により未整備森林の整備を実施した(保育間伐:古川町畦畑地区 0.80ha、末真地区 1.77ha、河合町大谷地区 2.13ha)。	
1. 民有林整備 の推進	1. 森林整備	森林集約化及び境界明確化推進事業	5,999	5,999	森林経営管理制度に基づき、飛騨市森林集約化推進協議会への委託により森林所有者に対して森林経営意向調査を実施し、森林整備に向けた森林集約化を推進した(意向調査:古川町畦畑地内 69.61ha、河合町大谷地内32.48ha、意向調査及び集積計画:神岡町小萱地内 9.52ha)。	No.2
1. 民有林整備 の推進	1. 森林整備	レーザー測量等ICT技術を活用したスマート林業への支援事業	600	600	森林経営計画内にて、針・広葉樹を含めた計画的かつ効率的に施業を行うこと及び林業従事者不足による業務効率化支援を行うため、ドローンやレーザー測量技術を使用した資源量調査に対し、補助を交付。(3 件)	
1. 民有林整備 の推進	2. 人材育成	林業人材活用・育成事業	6,188	2,119	専門的知見を有した人材にアドバイザー業務を委託することで、広葉樹天然林の施業に関する指導・助言と、OJTによる林務担当職員の人材育成を推進した(広葉樹のまちづくり推進アドバイザー1名)。	
1. 民有林整備 の推進	2. 人材育成	林業技術者確保・育成推進事業	558	558	林業技術者を確保・育成するため、市農業支援サイトに林業ページを追加し、WEB広告(関西方面)によるPRを実施した。また、三重県から市内林業事業体に就業した技術者に対し、家賃補助金を交付を行った(1名)。	
1. 民有林整備 の推進	1. 森林整備	生活環境保全林整備	396	396	市が地上権をもっている山林において、管理及び獣害対策等もかねて支障となる枝の伐採業務を実施した。(場所:古川町黒内地内)	
1. 民有林整備 の推進	3. 木材利用	飛騨の“森で働く”見学会開催事業	200	13	(株)飛騨の森でクマは踊ると連携し、飛騨市の林業事業体や広葉樹活用関係事業者を見学するインターンシップツアーを実施した。今後は、市内民間事業者主導による林業・木工製造事業者等を対象としたインターンシップ見学ツアーを側面的な支援を行っていく。	
2. 里山林整備 の推進	1. 森林整備	生活環境保全のための森林整備の促進(旧・市単里山整備事業)	11,902	11,902	R5年度に新たに策定した林縁部の整備に関するガイドラインに基づき、人家に近く暮らしと密接に結びついている里山について、集落が主体となった公益的機能の維持・向上を目的とした整備への補助を行った(危険木処理:古川町末真地内 0.24ha、古川町寺地区 0.25ha、神岡町石神地内00.69ha、伐倒木除去:古川町袈裟丸区 0.29ha)。	No.7
2. 里山林整備 の推進	1. 森林整備	里山環境維持・保全支援事業	926	926	地域住民等が協力して行う集落や人家に近い森林の適正管理に必要な活動を支援することで、集落環境の維持・向上を図った(小島城城址公園整備委員会、西忍乙班、三川原常会、高野地区)。	

事業区分	使途区分	事業名	事業費		事業の概要	資料
				うち森林環境 譲与税充当額		
3. 広葉樹のま ちづくり	1. 森林整備	広葉樹天然生林試験伐採及びモニタリング事業	6,778	4,306	天然更新の事前評価等、飛騨市における広葉樹天然林施業の基本方針の見直しを目的とした天然林整備(帯状間伐・林地保残帯設置)を実施した(場所:宮川町菅沼地内、下刈り1.3ha、皆伐1.3ha、作業路補修115m、搬出量260.272m ³ 、木材売上収入:2,472,231円)。	No.3
3. 広葉樹のま ちづくり	1. 森林整備	広葉樹施業と広葉樹の安定供給の推進事業	7,998	7,998	飛騨市広葉樹天然生林の施業に関する基本方針に基づき民間事業者が主体となって実施する広葉樹施業に対し支援を行うことで、市内産広葉樹の安定生産を推進した(事業対象地:古川町黒内地内、区域面積:4.59ha、帯状択伐:1.19ha、刈り出し:2.00ha、作業道開設189m)。	No.6
3. 広葉樹のま ちづくり	3. 木材利用	飛騨市独自の広葉樹サプライチェーンの確立支援事業	5,163	763	地域おこし協力隊制度を活用した「広葉樹活用コンシェルジュ」を配置(1名しするとともに、市内産広葉樹の活用推進のため、飛騨市広葉樹活用推進コンソーシアム中心となって実施する小径木の原木仕分けに要する経費に対し補助金を交付した(流通拠点での仕分け:449.829m ³)。	
3. 広葉樹のま ちづくり	3. 木材利用	広葉樹端材市内循環活用事業	316	316	市内の小学1年生が教材として使用するプラスチック製のアサガオ観察用プランターを市内で生産される市産広葉樹材を活用し製作することで、資源の地域内循環利用及び森林教育を推進した(古川小学校:70名、宮川小学校:6名)。	
3. 広葉樹のま ちづくり	3. 木材利用	飛騨市産広葉樹活用推進支援事業	1,691	1,691	飛騨市産広葉樹材を活用し、市外の商業店舗や観光施設等の内装木質化や、家具・什器等備品の導入、に必要な経費に対し補助金を交付した(2件交付)。	No.4
3. 広葉樹のま ちづくり	3. 木材利用	広葉樹FSC認証材のPR及び市場価値の検証	1,238	1,238	市有林を対象に適正な森林管理がなされていることを示す国際認証であるFSC認証の維持審査、認証材を適切に管理・加工することを認証するCoC認証を維持する事業者に対し補助金を交付。(FM認証:市、CoC認証:市内2社)東北等の認証材取扱事業者と連携し、東京都での展示会において、市産認証材広葉樹のPRを実施した。	No.5
3. 広葉樹のま ちづくり	3. 木材利用	林業・木材活用新技術開発支援事業	21	21	小径広葉樹短期製品化サイクルの新たな試験研究事業実施にあたり、コンソーシアムが主体となって行う乾燥試験研究事業の国交付金が交付されるまでの事業費相当額の借入によって発生する利子に対する支援(利子補給)	
3. 広葉樹のま ちづくり	4. 普及啓発	CO2排出の見える化による市内産広葉樹の高付加価値化	1,255	1,255	三重大学との共同研究により、飛騨市産広葉樹の伐採し、製材を生産するために排出した二酸化炭素の総量を数値化に取り組んでいる。市内における森林施業(広葉樹・針葉樹)の数値化をし、今後は製材品までの数値化を行い、他事例の比較による、市産広葉樹製材品の高付加価値化へつなげていく。	
3. 広葉樹のま ちづくり	4. 普及啓発	広葉樹の森が生み出す地下水源涵養性評価事業(水田の多面的機能評価)	3,456	3,456	岐阜大学との共同により、森林が豊富なことで生み出す地下水の涵養性の調査と地下水位の水質調査を行い、これまでの調査研究を取りまとめを行い、地下水の流動性のシュミレーションができる見える化を実施した。	
3. 広葉樹のま ちづくり	4. 普及啓発	広葉樹のまちづくり普及推進事業	336	336	飛騨市広葉樹活用推進コンソーシアム会議(総会)開催するとともに、広葉樹のまちづくりの普及推進を図るため、広葉樹の森づくりや昆虫と森林の関連性・先進的な森づくり(針広混交林)など市民・関係事業者とともに学ぶ「広葉樹のまちづくりセミナー」を開催した。	
3. 広葉樹のま ちづくり	4. 普及啓発	広葉樹活用ネットワーク化推進事業	354	354	飛騨地域での広葉樹活用に取り組むため、県・高山市・白川村と連携し、飛騨地域の広葉樹活用検討を実施した。キックオフとして、高山市で行われた飛騨家具フェスティバルにて「ひだ広葉樹活用シンポジウム」を実施した。	

事業区分	使途区分	事業名	事業費		事業の概要	資料
				うち森林環境 譲与税充当額		
4. 多様な森林 活用の推進	1. 森林整備	飛騨市市有林空間活用事業	2,402	10	市有林の空間活用に向けて、古川町信包の市有林に散策道の整備を実施、今後のフィールド散策や試験伐採、視察地としての活用に向けて有識者と現地検討を実施した。	
5. ライフライン 保全対策	1. 森林整備	ライフライン保全対策事業	24,200	7,015	停電によるライフライン被害の発生を防ぐため、県、電力会社等と連携し、電線沿いで 倒木のおそれのある樹木の伐採を行った(北陸電力区域の国道41号沿いの0.35km の 樹木伐採)。	
合 計			93,612	62,907		

令和5年度 基金積立額(年度末基金残高)	34,618
令和6年度 基金取り崩し額	0
令和6年度 譲与税額	85,251
令和6年度 積立額	22,400
令和6年度 利子額	72
令和6年度 基金積立額(年度末基金残高)	57,090

■事業区分別集計

事業区分	充当額 (千円)	割合 (%)
1. 民有林整備の推進	21,320	33.89
2. 里山整備の推進	12,828	20.39
3. 広葉樹のまちづくりの推進	21,734	34.55
4. 多様な森林の活用推進	10	0.02
5. ライフライン保全対策	7,015	11.15
合 計	62,907	100.00

■使途区分別集計

使 途 区 分	充当額 (千円)	割合 (%)
1. 森林整備	50,787	80.73
2. 人材育成	2,677	4.26
3. 木材利用	4,042	6.43
4. 普及啓発	5,401	8.59
合 計	62,907	100.00